

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成24年3月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2）

F 1 噴気孔群及びF 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図1-④）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

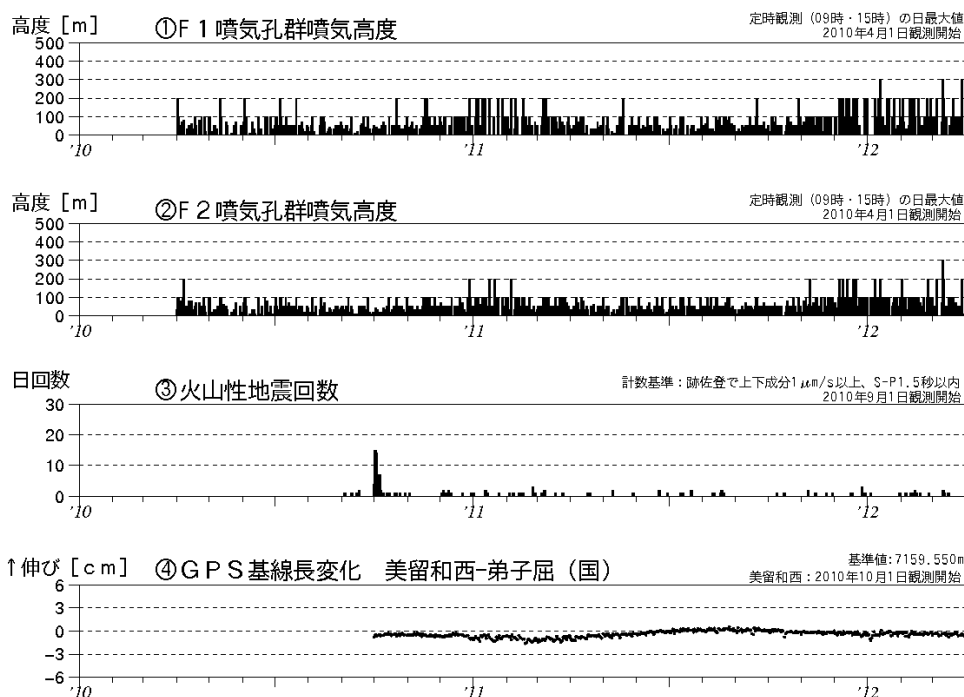


図1※ アトサヌプリ 火山活動経過図（2010年4月～2012年3月）、GPS連続観測点配置図

- ・ ④のGPS基線は右図に対応しています
- ・ (国)：国土地理院

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

今回の火山活動解説資料（平成24年4月分）は平成24年5月10日に発表する予定です。

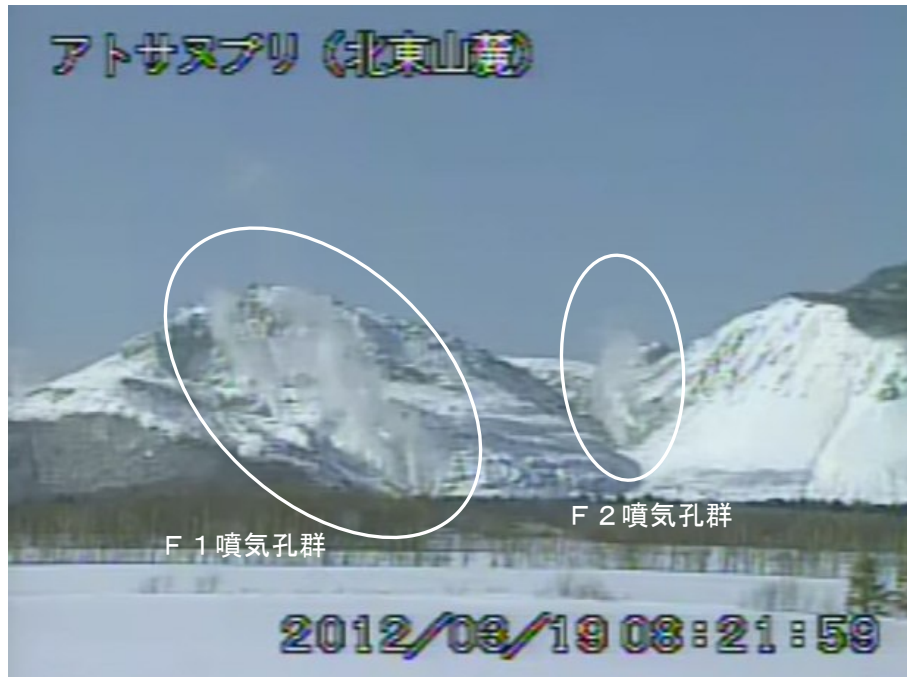


図2 アトサヌプリ 山体北側の状況（3月19日、北東山麓遠望カメラによる）
白丸内はF1噴気孔群及びF2噴気孔群からの噴気

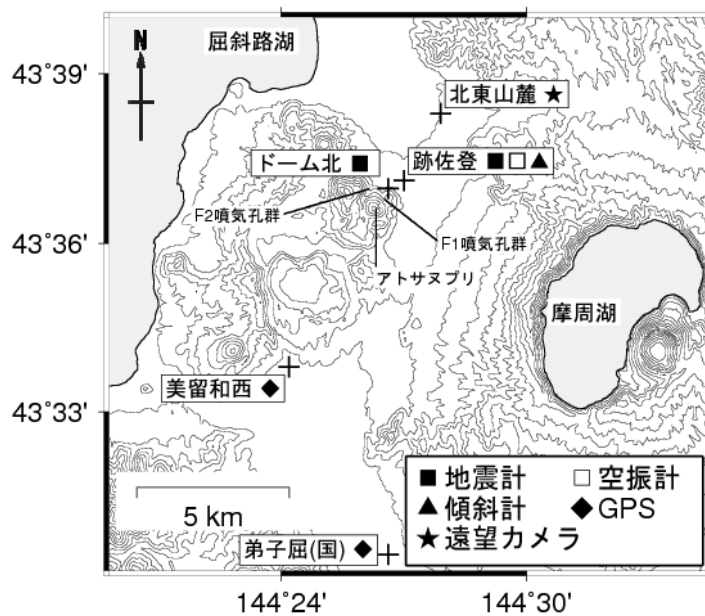


図3 アトサヌプリ 観測点配置図
+は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
(国)：国土地理院